



平成18年6月5日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ コード 3782)
問合せ先 取締役管理本部長 藤浪 育夫
電話 052-533-1110
U R L <http://www.dds.co.jp/>

匿名による電子商取引を行うための認証アルゴリズムを開発

バイオメトリクスを中心にセキュリティ分野でのビジネスを推進している当社は、東京大学先端科学技術センター（安田 浩教授）、株式会社ソルコム（東証2部上場 コード番号 1987）と三者共同で経済産業省から受託した「新世代情報セキュリティ研究開発事業」を平成17年12月より進めてまいりましたが、このほど「匿名による電子商取引を行うための認証アルゴリズム」を開発し、経済産業省へ中間報告を完了いたしました。

この匿名認証アルゴリズムは‘ユビキタス時代’において、重要な個人情報を相手方に開示することなく安全・確実に取引を行なうための電子商取引システムを構築する際に不可欠となる技術です。

システム概要：携帯端末を通じた電子商取引

決済機関は暗号化された商品購入鍵を発行。携帯端末では、更に商品購入鍵を乱数化して匿名化。

認証局はユーザーの携帯端末が正当であることを保証。

ユーザーは匿名化された商品購入鍵を商店に渡して、購入申し込み。

商店は匿名化された商品購入鍵を検証して、ユーザーへ商品を販売。

商店は商品代金を決済会社経由で受領。

従来の電子商取引においては、ユーザーは個人情報を商店に渡さなければならない不安があり、商店も顧客から預かった個人情報を紛失・流失するリスクを避けることができませんでした。こういった個人情報の受け渡しを行わずに安全な決済を実現するのが、高度な暗号技術を用いた匿名認証技術です。

この事業において、当社、東京大学先端科学技術センター（安田教授）、株式会社ソルコムは共同で「暗号通信プロトコルの実装」、「各構成機器のアプリケーション開発」、「アクセス制御基盤の実装」を分担し、実証システムにおいて匿名性、安全性を実証することとしています。

当社はこの研究成果を応用し、バイオメトリクスと並行してセキュリティビジネスの展開を進めてまいります。本要素技術は本年度中に確立され、来期以降の当社の各種製品開発に寄与してくるものと考えています。

産学連携戦略について

名古屋工業大学の梅崎研究室から技術移転した「周波数解析法」を採用した当社の主力製品「指紋認証システム」に代表されるように、技術からニーズを見通し、またニーズから技術を発見する「先端技術の目利き能力」が当社の大きな中核能力です。技術の高度化、多様化、重層化が益々進展する現代において、単一の要素技術だけではモノづくりは難しく、また顧客のニーズを満たす実現技術を見つけ出すのは難しくなっています。

こうした環境下、当社は「産学連携」によって様々な大学が保有する最新の要素技術を見つけ出し、当社独自の組込み技術によって具体的な事業（製品、サービス）に移転させていくことで、さらに競争力を高めてまいります。

この東京大学先端科学技術センター（安田教授）、株式会社ソルコムとの産学連携が売上高、利益に与える影響は2007年12月期に実現するものと期待しております。

以上